

## 令和4年度 今福まちづくりセンターの主な取組

事業名

地域住民主体の「支えあう、いま・福のある里づくり」を目指して  
～防災・防犯部会の ICT を活用した取り組みについて～

P

### ●事業実施に至った背景、目的

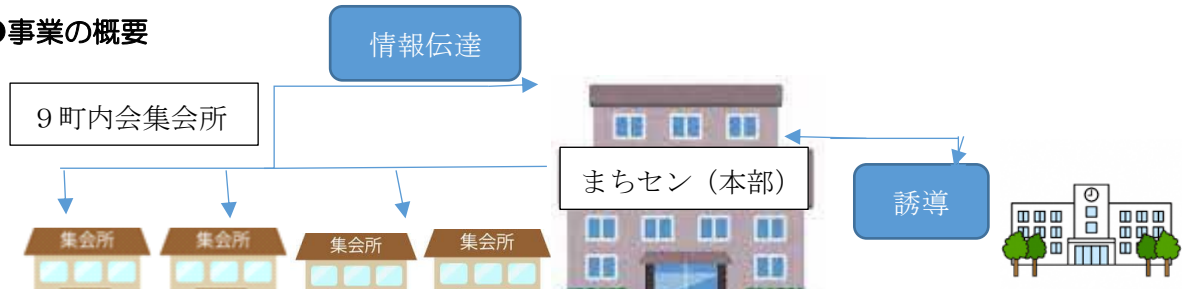
今福地区では令和2年7月から「ICT を利用した防災情報の収集、伝達体制の整備の訓練と実施」を行ってきました。地区自主防災の役員を中心に、自治振興会、9町内会、民生委員と協働で「災害時に自立できる、誰一人取り残さないまちづくり」を目指し、活動しています。

### ●事業を実施するまでの過程(関係機関との打ち合わせ等)

- ・公民館PC、スマホ教室 1回/月 自主防災役員研修 訓練5回/年(令和2年度より継続)
- ・令和3年8月9日の台風9号による避難指示発令時の実践1回。9町内集会所
- ・令和4年度 浜田市総合防災訓練 9町内会+本部 1回(168名参加)
- ・今福小学校保護者引き渡し訓練時における自主防災会役員誘導訓練(学校職員、自主防災会役員)

D

### ●事業の概要



C

### ●事業実施後の振り返り

- ・総合防災訓練では役員による振り返り、課題と次回に向けての対策を話し合った。
- ・今福小保護者引き渡し訓練では、学校職員全員と自主防災会役員、センター職員とで振り返りを行った。双方ならではの視点から情報が共有できた。自主防災会のみでその後の対策を話し合った
- ・自主防災会会議、まちづくり定期会でも報告し、全体で共有した。

A

### ●令和5年度以降の方向性

- ・役員のICT訓練は常時対応できるように継続して定期的に行う。
- ・総合訓練、引き渡し訓練も年に1回行う。
- ・訓練前には役員の役割分担や主体性を高めるためのワークショップを行う。
- ・総合訓練では参加した住民にも役割を担ってもらう。そのために速報を見える化する。

各集会所でTV・PCに繋いだ情報伝達を見守る住民の様子  
各集会所では、非常食等の配布や民生委員の独居安否確認などが行われ、避難世帯などの情報が伝達された。

